

2008

平山郁夫シルクロード美術館 ニュース

Hirayama Ikuo Silkroad Museum News

No.

06

平成19年
12月20日発行

龍と鳳凰

中国染織の流れ

2008年3月9日(日)～7月6日(日) 本館1階・別館2、3階

この展示は6月1日までです。6月4日より7月6日までは「レクシオン」による平常展の展示になります。

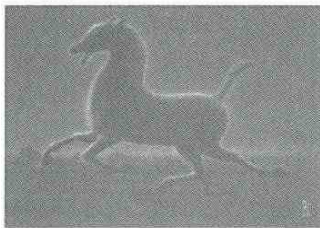
中国は、養蚕と絹の発祥の国としてシルクロードの出発点の地となり、今日もなお絹と生糸の世界最大の生産国です。その中国の染織の歴史を概観します。戦国時代の楚の墓から出土した精妙な絹織物、シルクロードの交流が盛んで長安の都が国際都市として栄えた唐時代の染織、これまでにあまり知られることの少なかった宋元の綴れや刺繍、龍袍をはじめとする明清の宮廷衣装などを紹介します。とくに文様の分野に焦点をあて、中国の代表的文様である龍と鳳凰を取り上げ、各時代の中国の染織にどのように表現されてきたか、中国の造形感覚の特質を探ります。



同時開催

本館2階

平山郁夫 薬師寺大唐西域壁画・大下図



20世紀最後の日である平成12年(2000年)12月31日大晦日、平山郁夫は奈良薬師寺の玄奘三蔵院で30年の歳月をかけた「大唐西域壁画」に最後の一筆を入れ完成させました。今期は構想を固める最初期の段階で手がける小下図と、最終的な原寸大設計図というべき大下図を、七場面一挙に公開します。壮大なスケールで展開する完成までの工程、本画では塗り込められてしまつて見えないような生々しい描線を「ご覧いただける貴重な機会となります」。

また、汗血馬を髣髴とさせる馬を幻想的に描いた「西域の馬」(1978年)を特別公開します。

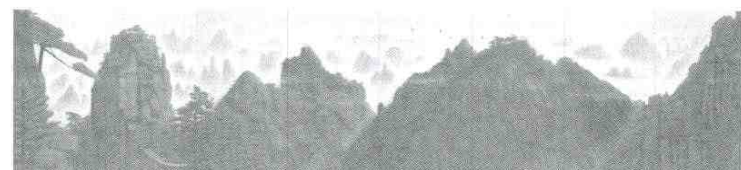
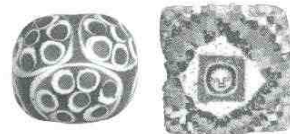
■会場 当館・本館および別館

■開館時間 10:00～17:00(入場は16:30まで)

■休館日 火曜日 7～9月は無休(展示期間中は休館)

■入館料 一般1,000円、高・大学生700円
小・中学生500円(土日は無料)、障害者 無料(介護者は1名まで500円)
※70歳以上は100円割引※団体(20名以上)は各100円割引■主催 (財)平山郁夫シルクロード美術館 山梨日日新聞社・山梨放送
信濃毎日新聞社 絲織社■後援 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 韮崎市 南アルプス市
甲斐市 NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士
エフエム八ヶ岳 平山郁夫美術館

■協賛 キリンビール ANA

2007年後期
年展覧会

欧州写生絵巻

フイレンツエ・ベネチア編

2007年10月3日(水)～12月16日(日)

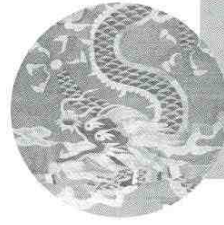
質量ともに国内でも有数のコレクションである当館所蔵のガラス品。紀元前15世紀の古代メソポタミアのガラスからローマン・ガラス、古代中国のトンボ玉、ササン朝ヘルシヤのカットグラスなど厳選した約400点に及ぶ見事な古代ガラスの数々は、幅広い年齢のお客様に大変ご好評をいただきました。古代のものは思えないほど完成度の高いデザインや輝きの展示品を一つ一つ見入っているお客様も多く、シルクロードのロマンの一端に触れていたかと思えます。また、秋の恒例となりました「欧州写生絵巻」は、めずらしい絵巻物形式の作品を興味深く眺める人も多く、憂愁のフイレンツエ・ベネチアの町並みをご堪能いただきました。

シルクロードのガラス

— 時空を超えた魅惑の輝き —

2007年7月15日(日)～12月16日(日)

神峰黄山雲海図
平山郁夫2006年院展出品



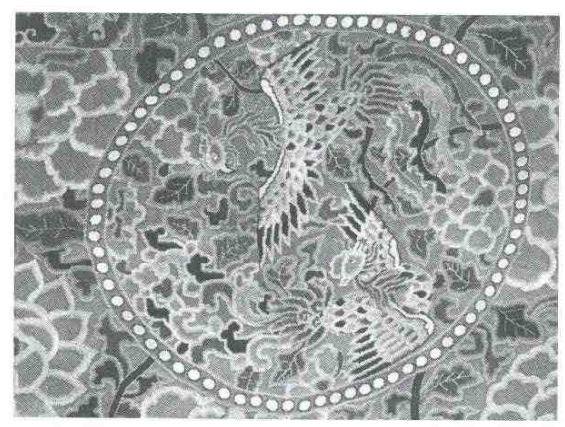
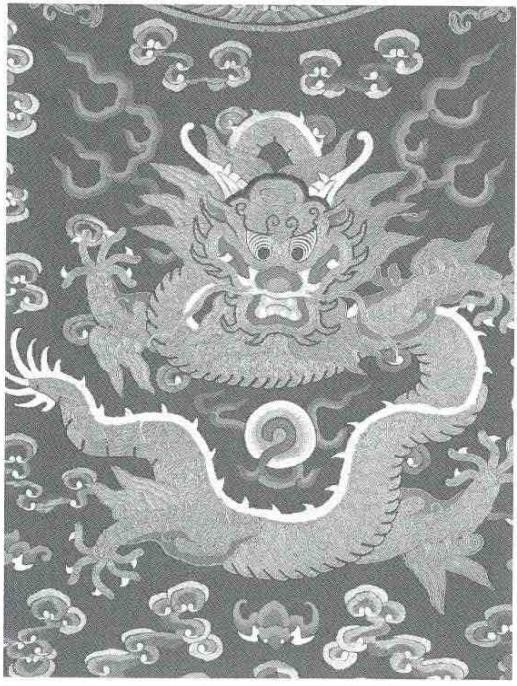
中国では龍、麒麟、亀、鳳凰が四霊といわれ、おめでたい時に用いられています。特に龍は皇帝のしるしとされ、鳳凰は皇后のしるしとされています。

日本でもおめでたい時用いる花瓶や茶器、敷物などに龍や鳳凰が描かれています。私は子供の頃、亀以外は実際には存在しないのに、その実在しない動物や鳥が、なぜおめでたいのかよく分かりませんでした。

とりわけ龍の絵などを見た時、大人は五爪が上等で、四爪や三爪は値打が下がるなどと話していたので、そのわけを聞くと、五爪は皇帝しか使う事が出来ないで、小国の王様などは四爪や三爪を使ったというのです。

龍と鳳凰

りゅう ほうおう



館長 平山美知子

それからは、私は龍の絵を見ると、先づ爪を数えたものです。

龍は蛇の身体に四つ足があり、顔はたてがみを持つこわい動物ですが、龍神とか龍宮といった水に関係があり、空を飛ぶというのは稲妻とか竜巻をみて想像され描かれたのだしょう。

鳳凰の形は鶴の様でありながら五色に彩られ、鶏冠を持ち、蛇頭又は龍頭をした、めでたい時に現れる瑞鳥といわれています。

何事もおめでたいに越した事はありませんので、此の展覧会で、少しでも明るい世の中にしたいものだと思っております。

子どものための教育普及活動

日本画体験教室「日本画ってなあーに？」

日本画の描き方を親子で体験することにより、絵画をはじめとする芸術全般に日本画の興味を持つてもらい、通常体験できない日本画制作という機会を通じて家族の絆を深めることを目的として、8月22日、日本画体験教室を開催いたしました。小谷野匡子、白石麻子両先生にご指導いただき、総勢14名の親子が墨絵や岩絵具を用いて竹や柿の絵に挑戦しました。



当館では、青少年に対する学習機会の充実と美術館に展示する平山郁夫作品を身近に感じてもらうことを目的として、青少年のためのイベントを幅広く開催しております。このほかにも様々な企画しておりますので、ご参加いただければと思います（詳細は当館ホームページをご覧ください）。

総合学習の創作活動

美術館の閉館日を利用して、10月30日に地元の秋田小学校6年生が美術館を訪れました。平和と世界の文化遺産をテーマに事前学習してきた児童たちは、熱心に学芸員の説明に耳をかたむけていました。絵やコレクションのスケッチの時間では、美術館スタッフのアドバイスを参考にしながら驚くほどの集中力で描いていました。随時募集していきます。



染色教室

開館当初より続けてきた染色教室も今年で4年目を迎えました。本年は、恒例となっていた生葉の藍（あい）、茜（あかね）、タマネギ、栗くるみ、コーヒーに加え、黒米（古代米の一種、精米した際のヌカを使用）や桃（冬季に剪定する枝を使用）といった地元山梨の特色を活かした材料にも挑戦します。ますます充実してきました。リピーターで参加している方の中には、次々と新しい材料に挑戦するなど好奇心旺盛に楽しんでくださっています。毎年6月・11月の土日で月一回開催する予定です。



当館が出品協力する展覧会

*美術工芸品

「シルクロードの至宝 平山コレクション特別展示」展

2007年12月28日まで開催中

平山郁夫美術館・尾道市(TEL 0845-27-3800)

<http://www.hirayama-museum.or.jp/>

「ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡」展

12月28日～2008年3月30日

静岡県立美術館(TEL 054-263-5755)

<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

4月10日～5月18日

福岡アジア美術館

(TEL 092-263-1100)

<http://faam.city.fukuoka.jp/home.html>

5月28日～7月6日

福井市美術館(TEL 0776-33-2990)

<http://www.art.museum.city.fukui.fukui.jp/index.html>

「平山郁夫とシルクロードのガラス」展

3月15日～5月6日

古代オリエント博物館・東京・池袋

(TEL 03-3989-3491) <http://www.sa-il24.net/~aom/>



平山
郁夫

*平山郁夫作品

「祈りの旅路 平山郁夫」展

2007年12月24日まで開催中

広島県立美術館(TEL-082-221-6246)

<http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>

「タイトル未定」

2008年9月～10月(予定)

さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館(TEL-028-682-7123)

<http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/sakuracitymuseum.html>



美術館関係者のためのプログラム

●第1回美術館スタッフ見学ツアー

アルバイト、ボランティア等、日ごろ美術館のためにご協力いただいている美術館関係者の有志約30名により、東京国立近代美術館にて開催された「平山郁夫―祈りの旅路」展を中心に見学する第1回美術館スタッフ見学ツアーを開催しました。参加者においては、平山郁夫の画業60年の軌跡を学ぶ研修となり、美術館スタッフ同士のさらなる交流を深めるよい機会となりました。

●展覧会のための勉強会

展示品への理解を助けるために、アルバイト、ボランティアをはじめ美術館スタッフに対し展覧会が始まる前に勉強会を開いております。監修してくださった研究員や当館学芸員の解説によって、展示品への理解を深めてもらい、来館者の案内に役立てていただいております。



各種イベント報告

講演会



9月の土曜日に二週連続で、『シルクロードのガラス―時空を超えた魅惑の輝き―』展を監修してくださった古代オリエント博物館(東京・池袋)研究員の宮下佐江子さん、石田恵子さんに、ガラスの歴史と技法について講演いただきました。

琴と尺八の多ベ

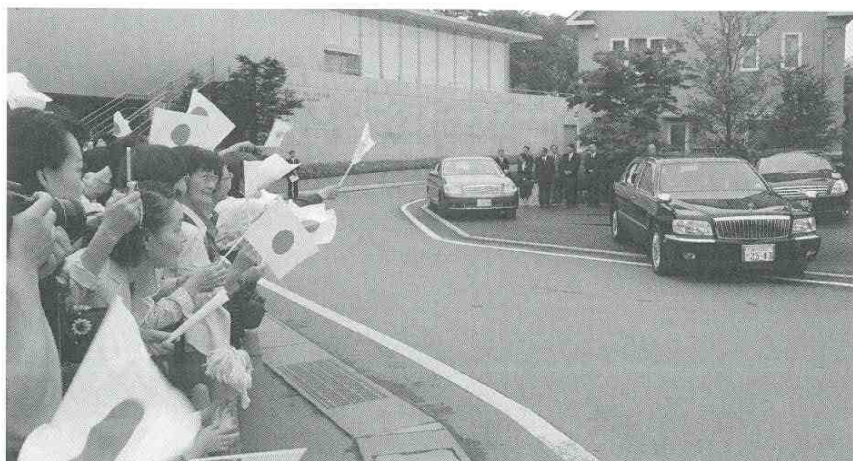
ホサナ邦楽アンサンブルと渡辺紅山をお招きして、11月3日(文化の日)に琴と尺八によるコンサートを開催しました。

詰めかけた約50名の観客は、平山画伯のキャラバンを描いた作品を背景に演奏された「月の砂漠」など絵と音楽の共演を堪能し、遙かシルクロードに心を馳せていました。



秋篠宮御成り

秋篠宮同妃両殿下、眞子内親王殿下が、北杜市内にて開催された第41回全日本高等学校馬術競技大会にご臨席され、併せて地方事情の御視察として、7月21日に平山郁夫シルクロード美術館にお成りになりました。平山郁夫理事長並びに平山美知子館長が館内を案内し、両殿下はゆつくりとした時間をお過ごしになりました。



賛助会のご案内

賛助会は美術館の活動を支援するとともに会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

なお、皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持・管理などに使用されます。

1 年会費

個人会員	1口	10,000円
家族会員	1口	15,000円
法人会員	1口	100,000円

年会費には消費税が含まれます。口数に制限はありません。家族会員は2名様までとします。ただし、会費は寄付免税の対象となっておりませんので、あらかじめご承知おき下さい。

2 会員募集の期間

会員の申し込みは随時受け付けております。会員証の更新は毎年7月とし、12月から3月までにご入会の方は、初年度の年会費は半額となります。また4月～6月のご入会の方は翌年6月まで有効です。



3 会員の特典

- 会員証を発行します。
* 個人会員 1枚 * 家族会員 2枚 * 法人会員 5枚
- 入館料は無料となります。
- 展覧会図録がお受け取りになれます。
- 美術館ニュースをお届けします。
* 個人会員 1部 * 家族会員 1部 * 法人会員 5部
- 特別内覧会にご招待します。
- 当館主催の講演会、講座へ優先的にご案内します。
- ミュージアムショップにて会員割引が受けられます。

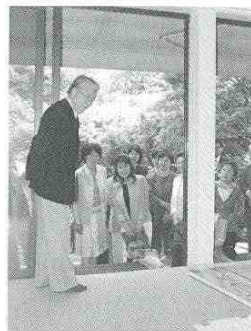
4 申込方法

入会をご希望の方は申込用紙に必要事項をご記入のうえ、美術館または事務局にご郵送いただき、所定の銀行または郵便局の口座に会費をお振込みください。美術館または事務局に直接お申し込みいただくこともできます。申込用紙は美術館受付に置いてあります。美術館または事務局にご請求していただいても結構です。詳しくは美術館または事務局にお問い合わせください。

賛助会感謝の会

風薫る5月12日、鎌倉の平山先生アトリエにて賛助会の皆様約70名の参加を受けて、日ごろのご理解とご協力に対する感謝の会を開くことができました。

当日は晴天に恵まれ、アトリエの庭園の散策や茶室の見学などを自由に楽しんでいただき、また平山先生、美知子館長、会員相互との歓談のひと時を、御茶やお菓子などとともに持っていただくことができました。平山先生はアトリエにまつわるお話をされたり、最新の制作途中の作品などもお見せくださり、参加された方々に大変喜んでいただくことができました。また平山先生、館長を



囲んでの記念撮影も、参加者の皆様にとって貴重な思い出の一枚になったようです。皆様のご協力を得て終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに無事会を終えることができ、職員一同感謝しております。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

指定寄附金 寄附実績報告

平山郁夫シルクロード美術館増築費用に係る指定寄附金(平成18年10月17日 財務省告示第401号)寄附実績額報告(寄附募集期間 平成18年10月17日～平成19年10月16日)

ご寄附をくださった皆様、寄附活動に直接携わっていただいた皆様のたくさんのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。お蔭様にて、募金目標を達成することができました。工事も来年七月の開館に向け、予定通り順調に進んでおります。また、この機会に財団の一般寄附としても多額のご寄附をいただきました。あわせてお礼申し上げますとともに、ここにご報告いたします。

寄附件数……………1,486件
寄附金実績額……………400,067,000円
(目標額4億20万円に対し差額-13万3千円)
法人(274件)……………249,670,638円
個人(1212件)……………150,396,362円



お知らせ

2008年北京・パリにて平山郁夫展開催

4月18日～26日に北京の中国美術館、5月14日～6月28日(予定)にはパリの三越エトワールにて「平山郁夫の芸術」展が開催されます。現在制作中の「ローマ」(仮題)を中心に「大シルクロード」シリーズ作品、「平成の洛中洛外」「流水無間断」など当館所蔵の大作が一堂に会す、壮大なシルクロード絵巻が展開する予定です。この北京発、パリ経由の「平山郁夫展」を7月13日(日)～12月14日(日)当館にて開催します。

冬期休館について

2007年12月17日(月)から2008年3月8日(土)まで、美術館は冬期休館いたします。来春のご来館を心よりお待ちしております。

2008年夏、グランドオープン予定!

現在進んでいる美術館の増築工事ですが、本年中に枠組みは完成し、来年7月には左記の平山郁夫凱旋展の開催と合わせてグランドオープンする予定です。展示室は従来の約2倍の広さとなり、平山作品とコレクションをより一層ゆったりご覧いただける美術館になります。どうぞお楽しみに。



財団法人
平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第6号 平成19年12月20日発行
発行 財団法人平山郁夫シルクロード美術館
〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225
URL <http://www.silkroad-museum.jp>